

国際交流／留学生センター主催講演会

パレスチナ・ガザやイランなど中東をめぐる戦争が行われています。私たちはこれをどうとらえていけばよいでしょうか。今回は、イスラエル・中東問題の専門家を招き、講演を行っていただきます。是非ご参加をお願いいたします。

「パレスチナの民族浄化とイラン攻撃を架橋するー欧米の対中東・アジア政策と日本の責任」

講演概要：

2023年10月から2年半以上続いているガザ・ジェノサイドのかたわらで、イスラエルはヨルダン川西岸地区での暴力と収奪を加速させつつ、さらに、レバノン、シリア、イランへの攻撃も激化させてきている。そして、欧米と日本の各国政府はこれに対して批判をしないのみならず、支持・協力さえしている。イスラエルの対パレスチナ戦略は、対中東戦略のなかでどのように位置づけられているのか。そして欧米・日本はどのように関わってきたのか。その歴史背景から最新情勢にいたるまで、その核心と全体像を論じる。

講師：早尾貴紀（はやお たかのり）

1973年生まれ、東京経済大学教員、社会思想史

2002-04年ヘブライ大学客員研究員として東エルサレム在住、ヨルダン川西岸地区とガザ地区とイスラエルをフィールドワーク

2011年より現職、学生を連れて現地スタディツアーなど

著書：『パレスチナ、イスラエル、そして日本のわたしたち』（皓星社）、『イスラエルについて知っておきたい30のこと』（平凡社）など

6/24留学生センター主催講演会「パレスチナの民族浄化とイラン攻撃を架橋するー欧米の対中東・アジア政策と日本」



6月24日（水）4限(14:40-16:10)

東京学芸大学 N313 教室、オンライン

申し込みフォーム：[6/24 留学生センター主催講演会「パレスチナの民族浄化とイラン攻撃を架橋するー欧米の対中東・アジア政策と日本の責任」講師：早尾貴紀（東京経済大学）- フォームに記入する](#)

問い合わせ先：国際交流／留学生センター 岡 智之 okatom@u-gakugei.ac.jp